

みたけの森を めぐるみち

名鉄「御高」駅 → 久々利地区

約5時間10分
8.9km (標高差150m)
(難易度 ★★★☆☆)

御高町・可見市

トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ●名鉄「御高」駅 ●みたけの森 ●泳宮(くくりのみや)
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ●名鉄「御高」駅 ●みたけの森



みたけの森は森の楽園として整備され、さまざまな自然にふれることができ、家族でのピクニックにぴったりである。泳宮では、古代のラブストーリーに思いを馳せることができる。

名鉄「御高」駅

スタート

約60分
登りの舗装路を歩いて、みたけの森に出る。

みたけの森

約160分
舗装路のあと、木段や緩やかな尾根の道、林間の道を進む。

大萱古窯跡群

約40分

小淵ダム

約40分
県道84号と交差。交通量は多め。

泳宮(くくりのみや)

約10分
住宅地の道。

久々利地区

ゴール

久々利地区からJR「下切」駅までは徒歩で約1時間かかります。

【泳宮(くくりのみや)】

日本書紀によると、景行天皇が美濃に行幸されたおりの仮宮。天皇は、この地に住んでいた八坂入彦命の娘を見初め、泳宮の池に鯉を放って妃としたというラブストーリーが伝えられている。

【みたけの森】

豊かな水と湿原の変化に富んだ自然にふれられる公園。ツツジ、ヤマザクラなど60種35,000本におよぶ樹木と、モウセンゴケ、サギソウの群生地もみられる広大な生活環境保全林。